

アクリルと天竜木で作るファミリーカレンダードアの提案

—天竜の間伐材を活かした浜松だからできるデザインの考察—

1. 提案の背景

日本は世界で3位の森林率なのに、近年海外の安価な木材におされて、国産材の需要が激減している。

それはそのまま森林の管理の放棄に繋がっている。木々が極度に密に茂ってしまい、一本一本の木に栄養が回らず、木の価値が暴落してしまうというのは、近年日本の森によくある問題である。

そこで、そんな価値がほぼない間伐材を使ったデザインドアを提案したいと考えた。そして購入金を山の間伐の資金に回す。購入者は買うことによって地域の水を生む山を守ることができる。

浜松による浜松のための浜松のデザインドアを提案したい。

2. 調査

◇1. 提案へのニーズ

近年新築着工数が減少し、リフォームの需要が高まってきた。リフォームの方が新築より建具にお金をかけられる。

つまりデザイン建具のニーズが期待できる。

かつ、安定市場であるカレンダーの機能も付加。そちらでもニーズが期待。

◇2. 日本の森林の現状

日本は国産材のニーズの低下で、世界3位の森林率にもかかわらず7割が輸入材に依存している。

今後は国産材の利活用法を考案してニーズを高める必要がある。

◇3. アクリル製品の将来性

アクリルは原料が石油なため現在価格高騰中。しかし、リサイクルが容易なため再利用の仕組みをつくれれば安価に原料を手に入れられる。そのため、プラスチックの中では最も将来性のある物質であると言える。

◇4. アクリルの特性

アクリルは耐久性が高く、割れても破片が鋭利ではないために、建具に使うのに適している。

しかも軽量で子供もお年寄りも開閉しやすい。そして印刷性能に優れていてデザイン性が高い製品に適している。

◇5. 近年のデザインドア

近年のデザインドアは

- ① 購買者参加型
- ② 形態が機能を表している
- ③ 機能を付加している

という特徴がある。

その全てに魅力があるため、全ての要素を入れたドアを提案したい。

3. 調査結果

再利用することによってゴミを減らせるアクリルと、使うことによって豊かな森をつくれる天竜の間伐材を活かしたドアを作ること、買った人が地元の浜松に貢献できる提案をしたい。

浜松で暮らす家族が、浜松の木で作ったカレンダーのドアと過ごしていく日々。

そんな、年と共に家族の繋がりが重なっていくような設計をしたい。

4. 提案

◇1...ドアの概要

種類：開き戸

機能：カレンダー

構造：障子

素材：天竜木、アクリル、柿渋

対象購買層：家族、お年寄り

設置場所：寝室、リビング、トイレ



◇2...どんなドアか

浜松市の最北に位置する水窪町で採取された杉の木を使ったドア。

水窪町は森林率 96%。町のほとんどが森林。近年間伐が行き届かず樹間が密になりすぎて木が大きく育たないという問題がある。そんな問題の根源である間伐材を生まれ変わ

らせたドア。

ドアを買うことによって間伐の資源が生まれ豊かな山になる支援ができる。

◇3...どんな魅力があるか

家の中で必ず通るドアに家族で共有できるカレンダーの機能を付加した。

毎日ドアを通る時に今日の予定を確認できる。大切な記念日には大好きなシールを。

大型連休に行く旅行はマスキングテープで期間を示す。

ドアの前で写真を撮った誕生日。

ドアと共に重なっていく思い出。

地元の山を豊かにしたドアが、いつの間にか日々の生活を豊かにしてくれた。

浜松で暮らす大好きな家族の忘れられない記憶をドアと一緒に。

◇4...ドアの使い方

木でできた月の数字は 1～12 までであり、毎月変える。

小枝でできた週の英字は毎月並べ替える。

途中から来月の予定を書きたい場合は下にも週の英字を書き、マスキングテープ等で区切って使う。

そんなカレンダーになったアクリル板の前に透明で何も書いていないアクリル板が 3 枚ある。蝶番で開閉式になっている。

その 3 枚のアクリル板に家族それぞれの予定を書き込む。予定がある日はそれぞれのテーマカラーで色付けされたアクリルシールを貼り、誰の予定か重ねても一目で分かるようにする。色が重なると彩り豊かで美しいカレンダーになる。

手すりにボードマーカーを置けるところがあるのでそこに置いて使う。